

第1部 『中山教頭の人生テスト』



10:00 上映開始 (上映時間125分)

トークショー (上映後): 渋川清彦

MC 志尾睦子

(シネマトークたかさき総支配人)

第2部 『笑う招き猫』



14:30 上映開始 (上映時間127分)

トークショー (上映後): 飯塚健監督、松井玲奈、角田晃広 (東京03)

スペシャルMC 渋川清彦、MC 志尾睦子

第3回

しぶかわ シネマ & トーク

日本のまんなかしぶかわ応援大使が故郷の魅力を発信

2026.

2 / 28 土

渋川市民会館
大ホール

全席指定: 各部500円

※開場は各上映開始30分前

※3歳以上有料

トークショーゲスト



飯塚健監督



渋川清彦



松井玲奈



角田晃広
(東京03)

発売日

1月15日(木) 9:00(電話予約は正午から)

発売場所

渋川市民会館

販売時間

9:00から17:00まで (休館日を除く)

主催 公益財団法人渋川市まちづくり財団
〒377-0008 群馬県渋川市渋川2795番地 (渋川市民会館内)
制作・協力 NPO法人たかさきコミュニティシネマ

お問合せ ☎ 0279-24-2261
※受付時間9:00~17:00 (休館日を除く)

イベントホームページは
こちら ➡



上映作品

『中山教頭の人生テスト』(2025年/日本/125分)

監督・脚本：佐向大

出演：渋川清彦、高野志穂、希咲うみ、渡部秀、高橋努、榎田遙流、太田結乃、大角英夫、矢部玲奈、笹木祐良、田野井健、川面千晶、橋本拓也、足立智充、安藤聖、大鶴義丹、風間杜夫、石田えり
配給：ライツキューブ (c)2025映画『中山教頭の人生テスト』製作委員会

山梨県のとある小学校。教頭の中山晴彦(渋川清彦)は、教員生活30年を迎えた教育現場のベテラン。とても真面目な性格で、誰に対しても物腰柔らかく接する反面、流されやすくどうにも頼りない人物だ。4年前に妻に先立たれた彼は、中学2年生の娘との将来のために校長への昇進を目指しているものの、日々の忙しさから受験勉強はうまく進まない。そんなある日、ひょんなことから晴彦は5年1組の臨時担任を務めることに。子供たちと真正面から向き合うことで、浮き彫りになってくる問題の数々。児童、教師、保護者、そして自身の家族といった、さまざまな者たちの思惑が複雑に絡み合う中、晴彦の人生は緩やかに、けれども確実に動き出していく――。

『笑う招き猫』(2017年/日本/127分)

監督・脚本・編集：飯塚健

出演：清水富美加 松井玲奈

落合モトキ 荒井敦史 浜野謙太 前野朋哉 稲葉友 那須晃行(なすなかにし) 中西茂樹(なすなかにし) 犬飼直紀 森田想 諏訪太朗 岩井堂聖子 嶋田久作 市川しんぺー 中村倫也 角田晃広(東京03) / 菅原大吉 岩松了 戸田恵子

製作幹事・配給：DLE | 制作プロダクション：ダブ | 製作：「笑う招き猫」製作委員会
©山本幸久/集英社・「笑う招き猫」製作委員会

結成5年目の売れない女漫才師「アカコとヒトミ」の高城ヒトミと本田アカコは、小さな劇場で常連客相手に漫才を披露する冴えない毎日を送っていた。ある日、いつも2人がネタ合わせをしている河川敷でヒトミの自転車を盗もうとする中学生を捕まえた一件から、2人にチャンスが舞い込むようになる。初めてのテレビバラエティ番組出演が決まるなど、漫才師としてようやく売れる兆しが見えてきた2人だったが、とある事件をきっかけに「アカコとヒトミ」の未来はますますわからなくなってしまう。



中山教頭の人生テスト



飯塚 健 (いづか・けん)

1979年、群馬県渋川市生まれ。映画監督。脚本家。2003年、『Summer Nude』で劇場デビュー。撮影時22歳、公開時24歳という若さで注目を集める。以降、『荒川アンダーザブリッジ』(原作：中村光)、『虹色デイズ』(原作：水野美波)、『野球部に花束を』(原作：クロマツテツロウ)といった漫画の映像化から、『笑う招き猫』(原作：山本幸久)、『噂の女』(原作：奥田英朗)、『ステップ』(原作：重松清)、『ある閉ざされた雪の山荘で』(原作：東野圭吾)といった小説の映像化、さらに『ヒノマルソウル〜舞台裏の英雄たち〜』、『FUNNY BUNNY』、『REPLAY&DESTROY』、『榎田貿易堂』といったオリジナル作品まで、多岐にわたるジャンルの作品を手がける。ASIAN KUNG-FU GENERATION、OKAMOTO'S、秦基博などMV監督作も多数。東京・丸の内コットンクラブを会場とするライブショー「コントと音楽」プロジェクトは現在、ライフワークとして継続している。著書に『ピンポンダッシュ 飯塚健冒険記』(サンクチュアリ出版)、『さよならズック』(復刊ドットコム)、『FUNNY BUNNY』(朝日新聞出版)など。2025年12月には自身初のビジネス書『晴れのシーンを撮る日に、雨が降ったら?』(サンマーク出版)が刊行された。公開待機中の映画最新作『Swim on Vacation』が第43回ファジール国際映画祭(イラン)コンペティション部門(Eastern Vista)ノミネート。



渋川 清彦 (しぶかわ・きよひこ)

1974年生まれ、群馬県渋川市出身。1998年に、豊田利晃監督作『ポルノスター』で映画デビューし、以降数々の作品に出演。2019年には第32回日刊スポーツ映画大賞・石原裕次郎賞/助演男優賞を受賞。近年の主な出演作に、映画『キングダム2 遙かなる大地へ』(佐藤信介監督)、『夜明けのすべて』(三宅唱監督)、『箱男』(石井岳龍監督)、主演『中山教頭の人生テスト』(佐向大監督)、『アフター・ザ・クエイク』(井上剛監督)『ブルーボーイ事件』(飯塚花笑監督)などがある。



(c) 野村佐紀子「BARFOUR」

松井 玲奈 (まつい・れな)

役者、作家。2008年デビュー。主な出演作は、映画『よだかの片想い』、NHK朝ドラ「まんぷく」「エール」、大河ドラマ「どうする家康」、『仮想儀礼』(NHK BS)など。2019年に初の単行本「カモフラージュ」(集英社)を刊行し、作家デビュー。最新作は「ろうそくを吹き消す瞬間」(KADOKAWA)。2024年7月より舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』にハーマイオニー・グレンジャー役で出演。

